

# 市政に 対する 一般質問

そこが  
聞きたい



一般質問は、提出議案以外の市政全般にわたり事務の執行状況や将来に向かっての方針などを執行部に尋ねるものです。今期定例会では、十三名の議員によって三日間にわたり行われました。  
主な質問と答弁の主旨は次のとおりです。

## 福祉事業の取り組みについて

高橋 督儀議員

・質問 次の点について伺いたい。  
・受益者負担の考え方について

社会経済の構造変化に対応した福祉サービスの取り組みについて  
NPO法人の組織化への取り組みについて  
社会福祉協議会の設置場所の見直しについて

・答弁(市民福祉部長)

羽生市が自主・自立を目指し、財政再建を進めていく過程において、今後は、従来の

受益者負担の考え方も検討見直しを進めていく必要があると考えている。

高齢者福祉については、総合相談窓口として基幹型在宅介護支援センターを設置し、サービスの調整や支援の充実とともに、介護予防、生きがい対策、生活支援を推進していきたい。

介護保険制度については、生活困難な利用者に対しては利用者負担の減免等を活用することにより、必要なサービスの提供を図っていきたい。

障害者福祉については、現在、国で介護保険制度との統合が検討されており、この動向を見守り対応していきたい。

少子化対策については、本年度、地域行動計画の策定のための二一ス調査を行っており、新年度には実効性の高い計画を策定する予定である。

市民生活を支援する取り組みとして、NPOの組織化推進は積極的に取り組むべきものと考えており、県の指導のもと、自主的・自発的な設立の支援に向けた研修会の開催



や情報提供を進めていきたい。社会福祉協議会は、地域福祉に密着した法人であり、市と対等のパートナーと言える組織である。

そのため、密接な連携を図る必要がある、市民サービスの面から市と社会福祉協議会は、現在のところ隣接しているほうが良いと考えている。

### その他の質問

・ゼロ予算事業の推進について  
・教育行政と教育委員会の運営のありかたについて  
・羽生市優良産品推奨制度について

### 三月定例会市議会傍聴者数

九日	……二名
十五日	……五名
十七日	……二十名
十八日	……二十九名
十九日	……八名
三十日	……九名
計	七十三名でした。

## 議会の詳細は 市議会会議録 をどうぞ

「羽生市ぎかいだより」は、毎年四回開催される定例会ごとに本会議で行われた一般質問の主な内容、答弁などをお知らせしています。なお詳細にわたって内容をお知りになりたい方は、市議会が発行している「羽生市議会会議録」をご覧ください。

平成十五年十二月定例会までの会議録は、市議会図書室(市役所四階)、市立図書館、各地区の公民館に備えてあります。

